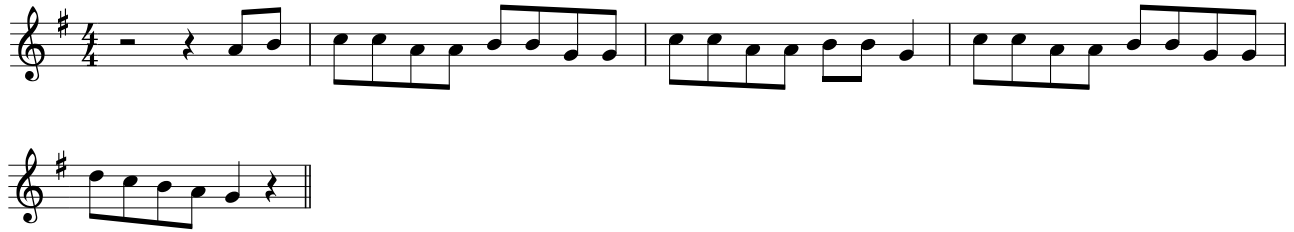


曲1. 「とり」の動き

藤原大輔



- ・譜面はわかりやすいように五線の中に入る音の高さで示してあります。
- ・実際には譜面通りではなく、「小とり」は高い”ラ”から、「大とり」は低い”ラ”から鳴らし始めることで 高い音と低い音を使い分けます。